

令和 7 年度 第 2 回 市川市公共交通協議会

令和 7 年 7 月 30 日 (水) 14 時

市川市役所 第 2 庁舎 4 階大会議室 1

会議次第

1. 移動プラン 7.5 信篤地域運行事業（デマンド型乗合タクシーの実証運行）について
2. バス運転士・タクシー乗務員の不足に対する取組について
3. その他

市川市公共交通協議会委員

	区分	対象組織	氏名	会長 副会長	役職
1	学識経験者	交通工学学識経験者	藤井 敬宏	会長	日本大学理工学部 非常勤講師/博士(工学)
2	公共交通事業者	京成バス株式会社	三浦 裕樹	副会長	取締役 営業部長
3		京成バス千葉ウエスト株式会社	福本 健二		企画部 部長
4		京成タクシーセントラル株式会社	三輪 武士		代表取締役社長
5		有限会社武藤自動車	武藤 厚		代表取締役
6	公共交通関係団体	一般社団法人 千葉県バス協会	成田 齊		専務理事
7		一般社団法人 千葉県タクシー協会	木嶋 譲		理事/京葉西部地区タクシー 運営委員会 委員長
8	地域公共交通の 利用者	市川市コミュニティバス 実行委員会	奥山 浩康		北東部ルート実行委員会 実行委員長
9			稻垣 カツ	監査	南部ルート実行委員会 実行委員長
10	運輸支局	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局	菅井 規		首席運輸企画専門官
11	道路管理者	国土交通省関東地方整備局 首都国道事務所	島倉 照勝		副所長
12		東日本高速道路株式会社 関東支社千葉工事事務所	大田 寛		副所長
13		千葉県葛南土木事務所	湯浅 康弘		次長
14		市川市	大塚 基明		道路管理課 課長
15	公安委員会	市川警察署	金野 誠昭		交通課長
16		行徳警察署	渡邊 啓吾		交通課長
17	市町村	市川市	米崎 勝則	監査	道路交通部 部長
18	一般旅客自動車運 送事業者の運転者 が組織する団体	京成バス労働組合	菅谷 直人		市川分会 分会長
19		京成バス千葉ウエスト株式会社	山元 大州		従業員代表

協議会規約第9条第2項の基づく委員以外の者

○移動プラン7 5信篤地域運行事業デマンド型乗合タクシーの実証運行について

	区分	対象組織	氏名	役職
1	公共交通事業者	ヒノデ第一交通株式会社 市川営業所	畠中 茂雄	所長
2	一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体	ヒノデ第一交通 千葉労働組合	萩生田 文隆	執行委員長

令和7年度第2回市川市公共交通協議会(座席表)

日時:令和7年7月30日(水) 14時

場所:市川市役所第2庁舎 4階 大会議室1

京成バス株式会社(委員代理)

日本大学理工学部
非常勤講師 博士(工学)

国土交通省
千葉運輸支局

小林 様

藤井 会長

菅井 委員

京成バス千葉ウエスト
株式会社

福本 委員

京成タクシーセントラル
株式会社

三輪 委員

一般社団法人
有限会社武藤自動車

武藤 委員

一般社団法人
千葉県バス協会

成田 委員

千葉県タクシー協会

木嶋 委員

京成バス労働組合

菅谷 委員

京成バス千葉ウエスト
株式会社

山元 委員

ヒノデ第一交通株式会社
市川営業所

畠中 様

ヒノデ第一交通
千葉労働組合

萩生田 様

日本大学理工学部
非常勤講師 博士(工学)

国土交通省
千葉運輸支局

国土交通省
首都国道事務所

島倉 委員

千葉県
葛南土木事務所

湯浅 委員

市川警察署(委員代理)

野口 様

行徳警察署(委員代理)

鈴木 様

コミュニティバス北東部ルート
実行委員会

奥山 委員

コミュニティバス南部ルート
実行委員会

稻垣 委員

市川市道路管理課

大塚 委員

市川市道路交通部

米崎 委員

--	--	--

京成バス千葉ウエスト 株式会社	日本大学理工学部 非常勤講師 博士(工学)	国土交通省 千葉運輸支局
福本 委員	藤井 会長	菅井 委員
京成タクシーセントラル 株式会社		
三輪 委員		
一般社団法人 有限会社武藤自動車		
武藤 委員		
一般社団法人 千葉県バス協会		
成田 委員		
千葉県タクシー協会		
木嶋 委員		
京成バス労働組合		
菅谷 委員		
京成バス千葉ウエスト 株式会社		
山元 委員		
ヒノデ第一交通株式会社 市川営業所		
畠中 様		
ヒノデ第一交通 千葉労働組合		
萩生田 様		

--	--	--

事務局

事務局

事務局

--	--	--

移動プラン75信篤地域運行事業 (デマンド型乗合タクシーの実証運行)について

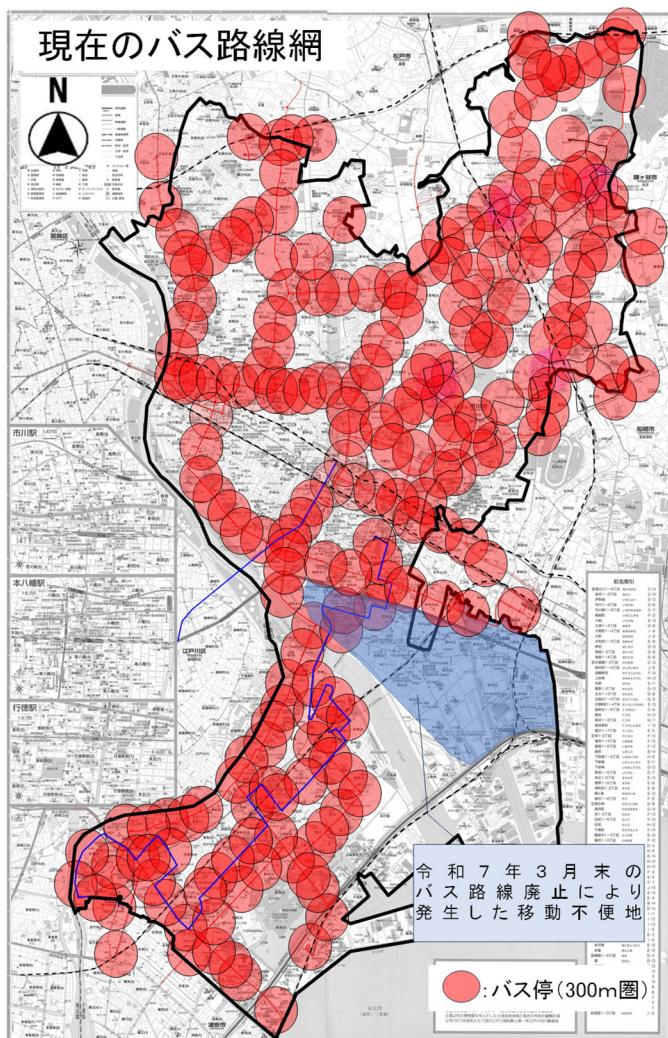
1. 事業の背景

1-1 移動プラン75とは

近年、市民の大切な足である路線バスの運転士不足が深刻化し、バス路線の減便や廃止により、地域によっては日常生活の移動が不便になることが危惧されている。

このような中、ゴールドシニアの方々のバスやタクシーでの外出を支援する「チケット75」に続き、75歳以上の方々をはじめ、どの地域の方々も円滑に移動できることを目的とした「移動プラン75」の調査・検討を進め、公共交通の面からも誰一人取り残さないまちを目指すもの。

1-2 本市の近況



- 本市において近年にないバス路線の廃線(原木線)
- 約3万人が居住する信篤地域が移動不便地となった



信篤地域の対策が
喫緊の課題

【信篤地域】
面積:約7.1k m²
人口:約3万人
(75歳以上:3千人)

※左図着色地域

図 1-2-1 バス停からの300m区域図

1-3 実態調査

信篤地域での課題解消について、各関係機関等へデータ収集及びヒアリング調査を実施。

- ・バス事業者ヒアリング及びデータ調査
 - 既存路線バスの乗降データ等を調査
- ・タクシー事業者ヒアリング
 - 地域交通とデマンド交通に関してヒアリングを実施
- ・既存送迎バスの調査及びヒアリング
 - 地域を走行している送迎バスについて調査及びヒアリング
(東横 INN が自治会連合会と協定締結し、東横 INN ⇄ 西船橋駅南口間を無料送迎中)
- ・自治会ヒアリング
 - 路線バスに代わる代替交通手段の構築が必要との意見

1-4 移動に関するアンケート調査

移動手段の検討にあたり、地元住民を対象にアンケート調査を実施、下記の結果となった。

【調査概要】

調査期間: 令和7年1月から3月

調査範囲: 信篤地域の公民館、自治会、高齢者施設、Web

質問内容: A.回答者の年代

- B.居住地域
- C.移動したい時間帯について
- D.移動目的について
- E.移動したい場所について
- F.移動費用について
- G.LINE(ライン)利用可否

回答数: 計 537 人(紙 432 人、Web105 人)

A.回答者の年代

信篤地域の主たる施設等やWebにてアンケートをとった結果、回答数は537件、回答者の年代は全体の約85%が60歳以上であった。

表 1-4-1 回答者の年代

年代	紙	Web	年代
60歳未満	34	2	10代以下
60歳代	85	11	20代・30代
70歳代	167	27	40代・50代
80歳代	135	46	60歳～74歳
90歳以上	9	19	75歳以上
未回答	2	—	
計	432	105	計

B.居住地域

回答者の居住地は、原木、田尻地区にお住まいの方々からの意見が多い結果となつた。

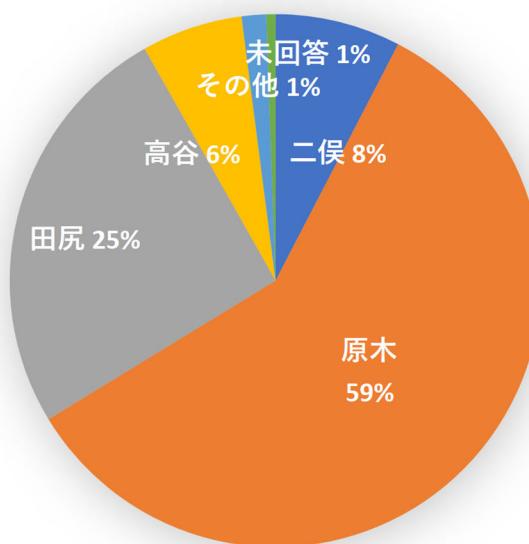


図 1-4-1 回答者の居住地域

C.移動したい時間帯について

移動したい時間帯は、「午前9時から午後5時」までの時間帯が全体の74%を占めており、通勤通学の時間帯から外れた時間帯での需要が見込まれる結果となった。

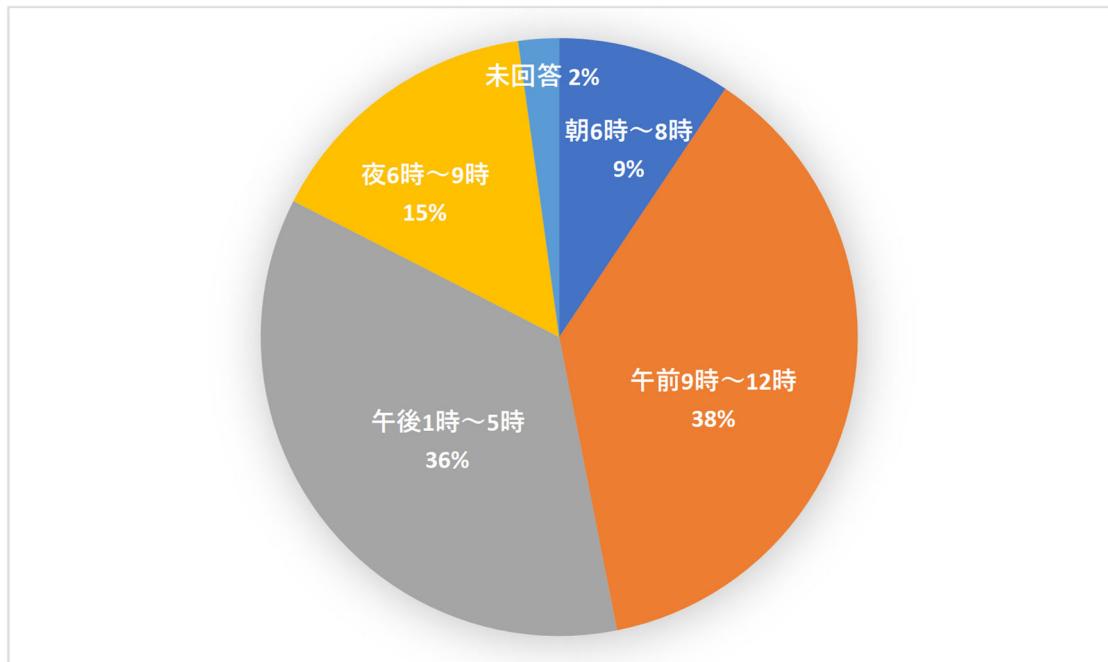


図 1-4-2 移動したい時間帯について

D.移動目的について

移動目的は、「買い物」が最も多く、次いで「通院」、「趣味・サークル活動」が多く、総じて生活に関連するものが多い結果となった。

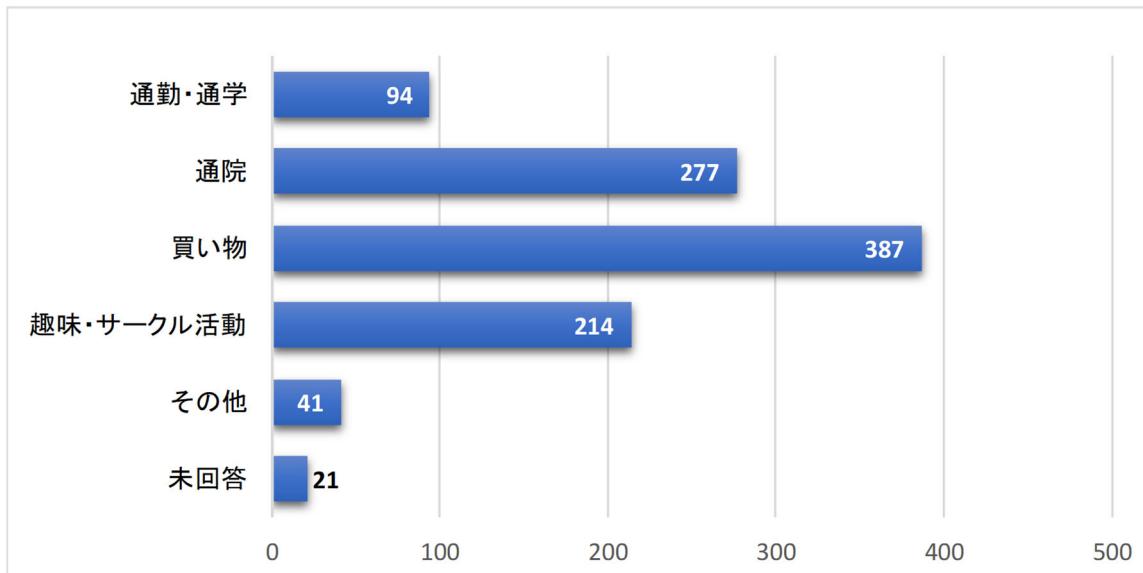


図 1-4-3 移動目的 (単位:人)

E.移動したい場所について

移動の目的地として「鉄道駅」が最も多く、とりわけ地域内の原木中山駅への希望が多い結果となった。また、日々の生活に関連する「病院」「スーパー」「公共施設」への移動も多い結果となった。

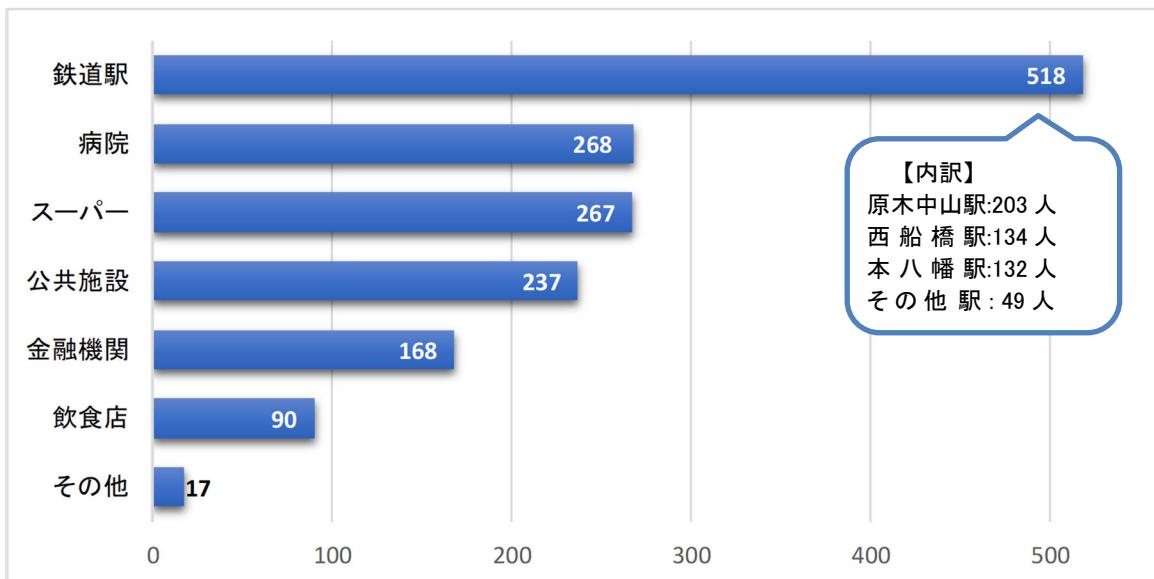


図 1-4-4 移動したい場所について（単位:人）

F.移動費用について

移動費用の希望額は、「300円まで」、「500円まで」が87%を占めた。

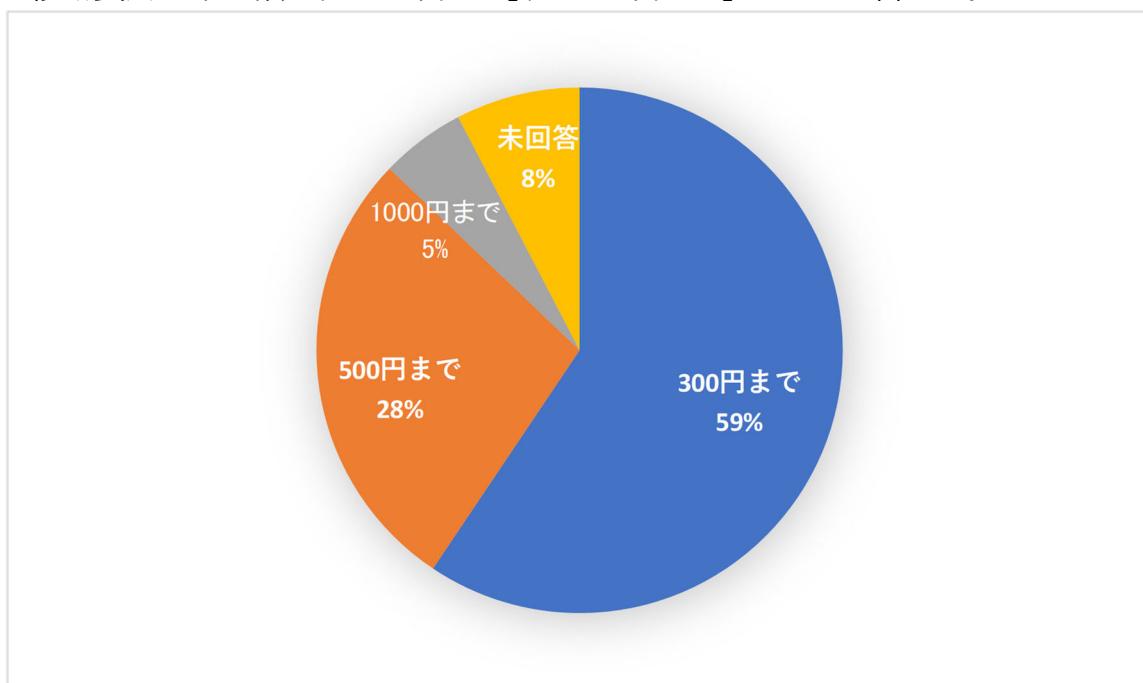


図 1-4-5 移動費用について

G. LINE(ライン)アプリについて

ラインアプリについて日常的に使用している方が約5割に留まったことから、移動プラン75の主目的を鑑みると、アプリ等の導入は慎重に検討する必要がある。

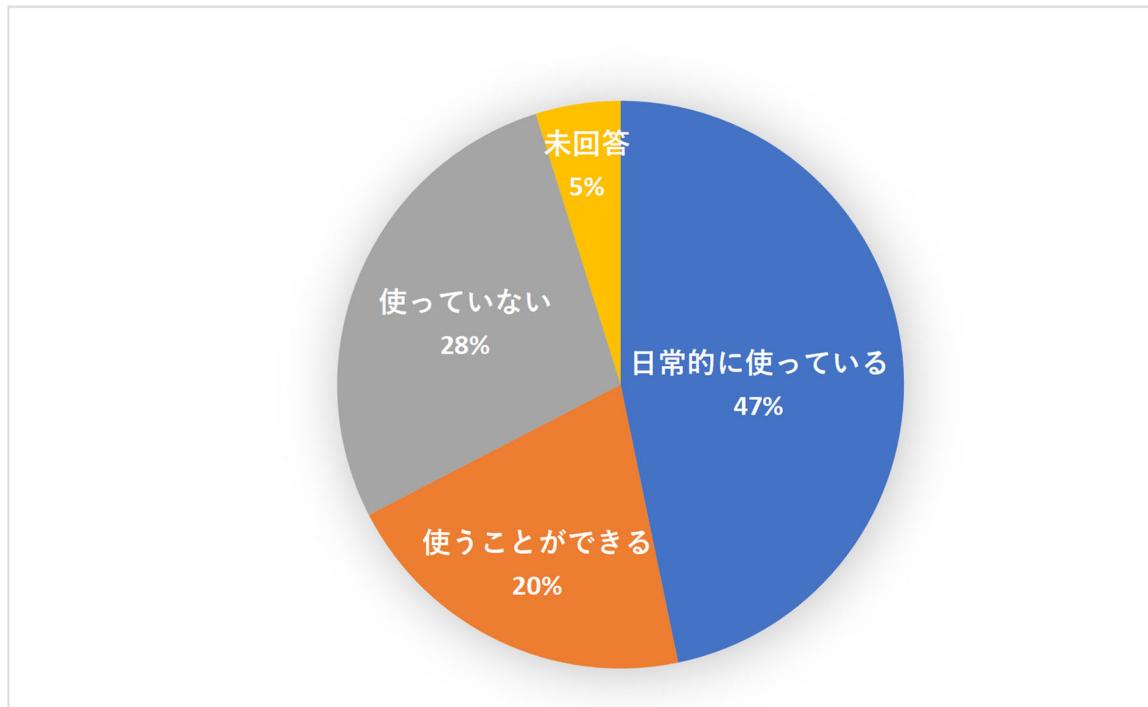


図 1-4-6 LINE(ライン)アプリの利用について

【アンケートまとめ】

回答者属性: 約 85% が 60 歳以上

移動時間帯: 午前9時～午後5時

移動目的: 日々の買い物、通院、趣味活動等

目的 地: 鉄道駅(原木中山駅、西船橋駅、本八幡駅)

病院、スーパー、公共施設

移動費用: 300～500 円

アプリ利用: 約5割

路線バスに代わる移動手段を検討するにおいては

上記のアンケート結果を踏まえて行うものとする。

2. 移動手段の検討及び決定

2-1 移動手段の検討

路線バスに代わる移動手段について、各手段の検討を行った。

表 2-1-1 交通手段比較表

移動手段	①特徴 ②県内事例 ③当該地域での有効性	評価
デマンド型 乗合タクシー	①需要に応じた運行ができる ②カシワニクル(柏市)、高津戸乗合タクシー(千葉市) ③予約制、乗合型の柔軟なサービスで、移動を必要とする人が希望する時間と場所に合わせて利用ができるため有効	○
既存送迎バス	①地域を循環している施設送迎バスの空席を活用する ②高齢者支援協力バス事業(船橋市) ③財政的な負担が最も軽い手法だが、通常の送迎の空きがなく、また、既存ルートの変更は困難なため、アンケートから得られた目的地を周回する目的地の多くを満足できないことから有効とは言えない	△
コミュニティバス	①既存のバスサービスができなかった地域に対して適している ②梨丸号、わくわくバス(本市) ③バス運転士が不足している状況や、路線バスが廃止された状況から採算性も見込めず有効とは言えない	×
公共ライドシェア	①一般ドライバーが自家用車を活用して、地域住民等の生活に必要な移動を確保する ②房総ライド(南房総市、館山市) ③バスやタクシー事業者のサービス確保が恒常に困難な地域に限られることから、当該地域には該当しない	×
グリーンスローモビリティ	①時速 20km 未満で公道を走ることができる低炭素型交通 ②グリーンスローモビリティ地域推進事業(松戸市) ③時速 20km/h 以下の低速で運行することから、一般車の交通量が多い地域では、渋滞の一因になり得ることから、当該地域の状況から活用は適切でない	×

2-2 移動手段の決定

2-1 の検討の結果、信篤地域においてはデマンド型乗合タクシーが最も有効であることから、デマンド型乗合タクシーの実証運行を行うものとする。

3. 運行計画案

3-1 運行形態

道路運送法第21条に基づく実証運行

3-2 運行期間

令和7年11月1日から令和8年10月31日までを予定(1年間)

3-3 運行区域

本市の田尻、高谷、原木、二俣の4地区(一部を除く・下図着色部)を「信篤地域」と位置付け、当該地域内及び、地域外の一部(本八幡駅南口、西船橋駅南口など)を運行区域として、タクシー車両による乗合運行を行う。

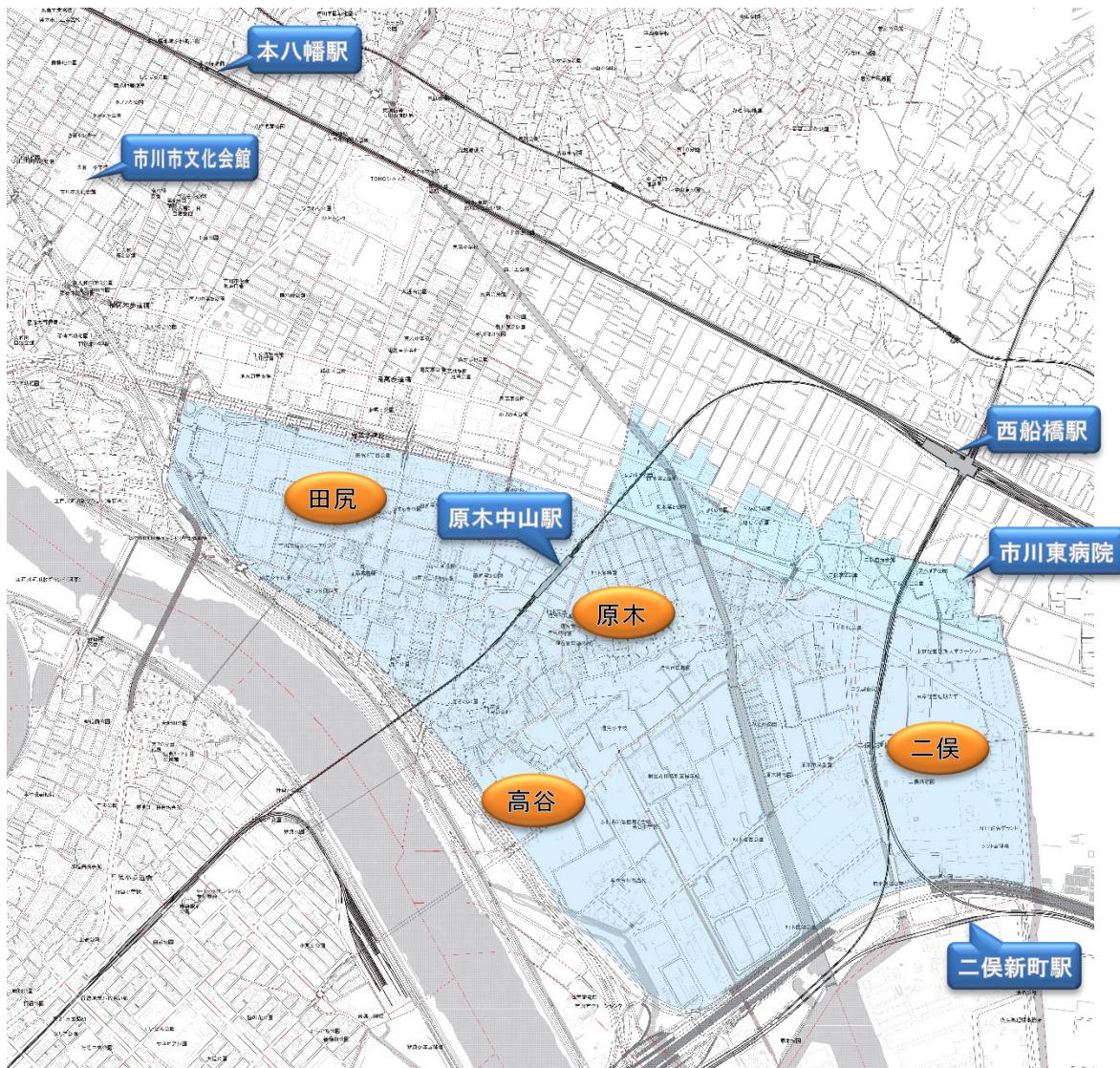


図 3-3-1 信篤地域の運行区域

3-4 運行事業者

ヒノデ第一交通株式会社(予定)

3-5 運行日時

運行日:全日(土日祝日、年末年始、お盆期間含む)

運行時間:午前9時00分(出発時刻)から午後6時00分(到着時刻)まで

3-6 利用者の範囲

利用者登録をした市川市内居住者に限定(年齢制限はなし)

3-7 利用者登録・予約方法

利用者登録は、原則、運行事業者が電話により受け付けるものとし、下表の項目を利用者から聞き取るものとする。

利用予約は、利用希望の2時間前まで受け付け可能とする。

表 3-7-1 利用者登録・利用予約時の聞き取り項目

利用者登録	
氏名	フルネーム、漢字・ひらがな不問
住所	お住まいの番地まで
電話番号	
年齢	年齢(生年月日)または年代
性別	※回答任意
配慮事項の有無	車いす、要介助者、小学生以下など
利用予約(利用希望時間の2時間前まで受付可)	
氏名	フルネーム
電話番号	
利用希望時間	希望時間と行先に応じて乗合いの調整を行う
乗降する場所	
利用者の区分	大人、小学生、未就学児、車いす、介助者など
大型荷物の有無	トランク等に積めるサイズか確認

3-8 運行車両

ジャパンタクシー等 2台



(参考)使用車両



事業ロゴデザイン案
(マグネットシート)

3-9 運賃

区域内運行 300 円

区域外運行 500 円

- ・大人(中学生以上)
- ・障がい者(介助者1名含む)及び小学生は利用料金から100円引き。
- ・未就学児は、大人1名につき1人まで無料。2人目以降は小学生と同額。
- ・現金のみ使用可(前払い、交通系 IC カード等使用不可)
- ・回数券、定期券、1日乗車券など、その他割引制度の設定は無し。
- ・その他、チケット 75^{*}の利用について検討中。

※ チケット 75 とは

ゴールドシニア(75 歳以上の方)を対象に、外出を促進し、健康寿命の延伸を目的として、福祉部で配布しているバスやタクシー利用券のこと(配布上限あり)。

3-10 運輸支局への許可申請

道路運送法第21条に基づく申請

3-11 事業スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8.1月	2月	3月	4月以降
予算の議決			6月補正 ★									
公共交通協議会		デマンド交通導入検討の説明 ★		★								
運行計画調整			案の作成・調整 →									
道路運送法許可申請(運行事業者)				申請	関東運輸局 ★	許可						
乗降場準備				占用申請 →各道路管理	乗降場設置 →							
信篤地域運行事業				定時循環運行 (平日:11時~14時)			デマンドタクシー実証運行開始 →					
検証項目調査							運行データ収集・アンケート等 →					

図 3-12-1 事業スケジュール

4. 実証運行の進め方

4-1 事業継続に向けた取り組み

実証運行の期間中においては、アンケートなどの各種調査や、運行実績から得られる利用情報を蓄積・整理することで事業の効果を把握し、今後の改善及び継続に向けた取り組みを行う。



図 4-1-1 PDCA サイクルの考え方

4-2 実証運行での検証項目(案)の設定

下表の分類に準じた調査を行い、事業効果の把握資料とする。また、実証運行開始までに下記項目の指標となる数値を設定する。

また、検証項目についても、PDCA サイクルを継続するなかで、必要に応じて追加、見直しする。

表 4-2-1 検証項目(案)

利 用 者 満 足 度	5段階評価アンケート
運 行 実 態	平均乗車人数 リピート率 稼働率 各乗降スポットの利用頻度
社 会 的 効 果	高齢者利用率
経 済 性	運行コスト(1人当たりの行政負担額など) 採算率

5. 乗降スポットについて

5-1 乗降スポットの数、名称

乗降スポットの選定にあたっては、廃止された路線バスのバス停であった箇所のほか、移動需要が多く見込まれるスーパーや病院、住宅地を加えた計 25 箇所とした。

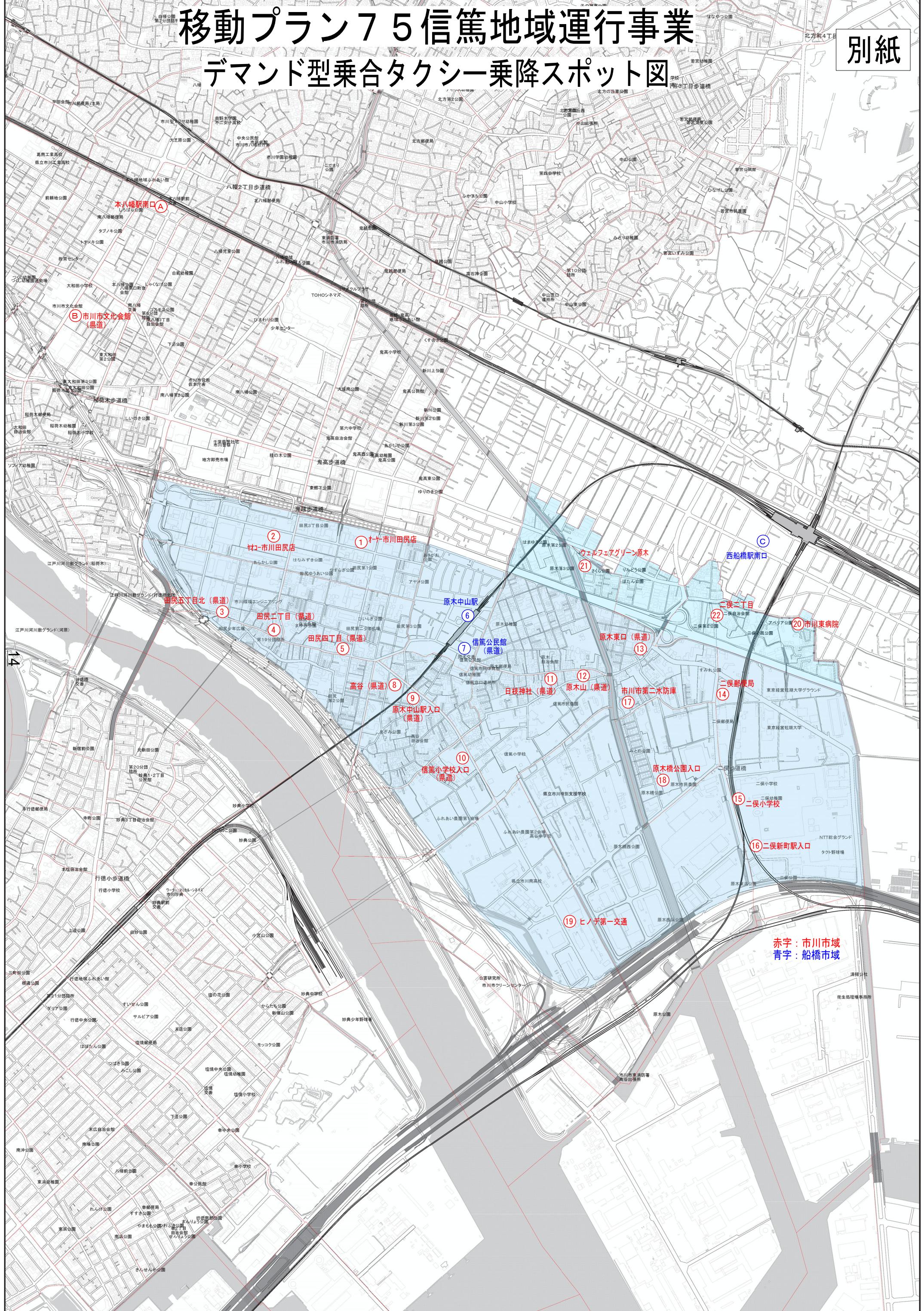
別紙、「移動プラン75信篤地域運行事業 乗合タクシー乗降スポット図」のとおりであり、追加要望や移動希望などがあった場合は、適宜、検討・調整する。

表 5-1-1 乗降スポット一覧

区域内の乗降スポット	
路線バス(原木線)の バス停だった箇所	3.田尻五丁目北 4.田尻二丁目 5.田尻四丁目 6.原木中山駅 7.信篤公民館 8.高谷 9.原木中山駅入口 10.信篤小学校入口 11.日枝神社 12.原木山 13.原木東口 14.二俣郵便局 15.二俣小学校 16.二俣新町駅入口
新規	1.オーケー市川田尻店 2.ヤオコー市川田尻店 17.市川市第二水防倉庫 18.原木橋公園入口 19.ヒノデ第一交通 20.市川東病院 21.ウェルフェアグリーン原木 22.二俣二丁目
区域外の乗降スポット	
路線バス(原木線)の バス停だった箇所	A.本八幡駅南口 B.市川市文化会館
新規	C.西船橋駅南口

移動プラン7 5信篤地域運行事業 デマンド型乗合タクシー乗降スポット図

別紙



バス運転士・タクシー乗務員の不足に対する取組について

1.バス運転士・タクシー乗務員募集説明会の開催

令和7年度に予定している市川市公共交通協議会主催のバス運転士・タクシー乗務員募集説明会についてご報告いたします。

2.開催概要(予定)

	第1回	第2回
開催日	令7年10月11日(土) 10時～12時(予定)	令和8年2月28日(土) 午前(時間未定)
主催	船橋市地域公共交通活性化協議会 市川市公共交通協議会	船橋市地域公共交通活性化協議会 市川市公共交通協議会
開催場所	全日警ホール(市川市) 市川市八幡4-2-1 JR 本八幡駅から徒歩約8分 京成八幡駅から徒歩約5分	きららホール(船橋市) 船橋市本町1-3-1フェイスビル6階 JR・東武・京成船橋駅から徒歩約2分

3.その他

説明会の開催に加え、以下の取組を検討しています。

- ・自治会掲示板へのポスター掲示への協力
- ・協会等で実施する説明会への後援

各取組の実施には条件がありますので、事務局までお問い合わせください。